

三原市立宮浦中学校第 2 学年国語科学習指導案

単元名：ことばを磨く

指導者：三原市立宮浦中学校 則宗 敦子

- 1 日 時 : 平成29年9月14日(木) 第5校時
2 場 所 : 2年4組教室
3 学年・学級 : 第2学年4組(30名)
4 単元名 : ことばを磨く(「短歌の世界」「短歌十首」の発展学習として)

(1) 単元観(教材観)

本単元は学習指導要領[第1学年]A話すこと・聞くこと(1)オ「話合いの課題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。」を受けて設定した。

短歌は、一語一語に作者の心情が凝縮されているといつてよい。作者が現実で体験したことを抽象概念とし、それを具体的な情景を使って表現したものである。それは、三十一音という短詩型で表現することで人の心を動かし、物の見方や考え方を示している。短歌の発展学習を通して、ことばに対する思いの深さに触れ、表現の工夫を学ぶ機会としたい。

ここでは短歌の形式から、空欄に入る語句の文字数は推測できる。短歌の内容やリズムから空欄に入ることばを考える活動を通して想像力を伸ばし心情を豊かにすることをねらい、実際のことばを確認することで、作者の優れた言語感覚に触れさせることができる教材であると考えられる。

(2) 生徒観(調査結果からみる課題)

本学級のほとんどの生徒は学習に対して意欲的であり、発問に対しても積極的に答えようとする姿勢が見られる。短歌については小学校でも学んできており、「短歌の世界」「短歌十首」でも学習したので、基本的な事は理解していると思われる。

平成29年度「基礎・基本」定着状況調査の結果は次の通りであった。

観 点	全体通過率	聞くこと	書くこと	読むこと	言 語	書くこと ・読むこと
本 校	68.4	76.3	55.2	72.1	70.9	65.9
県 平 均	69.2	72.4	58.1	71.1	73.8	64.0

「聞くこと」と「読むこと」の領域に関しては、県平均を上回っているが、「書くこと」と「伝統的な文化と国語の特質に関する事項」の領域では、県平均を下回っている。「書くこと」では特に、「叙述の仕方の確認」が、県平均を8.7ポイント下回っており、通過率が最も低いが、「資料の活用」の設問においても、1.6ポイント下回っている。また、「言語に関する領域」では漢字の書き「始動」が県平均を9.3ポイント下回っていた。

タイプⅡの「書くこと 読むこと」の領域では、全体的には県平均を1.9ポイント上回っているが、項目で見ると、「情報の取り出し」が県平均を6.2ポイント下回っている。

また、「教科の学習に関する調査結果」では、「国語の授業では、伝えたいことの方がうまく伝わるように、話の組み立てを考えて話したり、話の中心を考えながら聞いたりしています。」の項目の肯定的意見が県平均より6.0%下回っている。

(3) 指導観(指導改善のポイント)

本時の学習は基礎・基本調査の結果で「情報の取り出し」や「伝えたいことの方がうまく伝わるように話の組み立てを考えて話したり、話の中心を考えながら聞いたりしている」における調査結果の課題を克服するための一つの取組と

して、短歌の他の言葉の情報から想像力を働かせて、空欄に入る言葉を考える課題を設定した。

本校の研究テーマ『資質・能力の育成をめざした学びの創造』～コミュニケーションを活用した授業の工夫～に沿って個人思考のあと、班で考えたことを交流する場面を設定した。それによって、自分が感じたことを根拠を整理し、相手に分かりやすく説明する力を養おうと考えた。その活動で、理由をつけて自分の考えを述べ、相手の意見を聞いたり、質問したりする中で自分の意見をうまく伝えられるように、また相手の意見をしっかりと聞くことができる力を養いたい。○ ○・・・相互に意見を出し合うことで、課題を解決するための能力を育成することができると考えた。班学習を取り入れることによって自分の意見を発表したり、自分以外の生徒の意見を聞いたりすることで生徒自身の発想の場を広げ、様々な視点から鑑賞できるようにしたい。

(4) 本単元において育成しようとする資質・能力

本校で育成しようとする資質・能力は以下の5点である。

【知識】	【スキル】	①課題解決能力	②表現力		
【意欲・態度】		③主体性	④協調性	【価値観・倫理観】	⑤公共心

この中から、本単元において育成しようとする資質・能力は次の1点に重点を置くものとする。

【スキル】①課題解決能力

- ・短歌の空欄に入る言葉を短歌全体から想像し、自分の意見を班で交流し合うことができる。
- ・自分の考えを理由を付けて言え、他の人の意見も聞いて考えを広げることができる。

5 単元の目標と評価規準

単元の目標

○短歌に関心を持ち、他の言葉を手がかりに想像を働かせながら空欄に入る語を考えようとしている。

【国語への関心・意欲・態度】

◎空欄に入れた言葉について自分の考えと比較しながら相手の意見を聞き、自分の考えをまとめている。

【A話すこと聞くこと(1)(オ)】

単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	話す・聞く能力	知識・理解
・短歌に関心を持ち、想像を働かせながら考えようとしている。	・自分なりの根拠を明確にして、空欄に入ることを考えている。	互いの考えを交流し合って、自分の考えをまとめている。	

6 指導と評価の計画

全1時間 (本時は1/1)

次	学習内容(時数)	評価						
		関	考	表	知	評価規準	評価方法	資質・能力(評価方法)
1	<p>まとめ・創造・表現</p> <p>○短歌の空欄に入る言葉を想像し、短歌に親しむ。(1)</p>	○		◎		<p>・短歌に関心も持ち、空欄に入る言葉を考えようとしている。</p> <p>・自分の考えと比較しながら相手の意見を聞き、自分の考えをまとめようとしている。</p>	<p>・行動観察</p> <p>・ワークシート</p>	<p>①課題解決能力</p> <p>(行動観察・ワークシート)</p>

7 本時の展開

(1) 本時の目標

根拠を持って、短歌の空欄に入ることばを想像力を働かせながら考えることができる。

(2) 観点別評価規準

- 自分なりの根拠を明確にして、空欄に入ることばを考えている。
- ◎自分の考えと比較しながら相手の意見を聞き、自分の考えをまとめようとしている。

【A話すこと聞くこと (オ)】

評価方法：行動観察，ワークシート

(3) 育成したい資質・能力の評価基準

資質・能力	評価基準
①課題解決能力	A 空欄に入る言葉を，短歌全体から想像し，根拠を明確にして説明することができる。 B 空欄に入る言葉を，字数をヒントに考え，班の他の生徒に説明することができる。 C 空欄に入る言葉について他の生徒の意見を聞き，自分の考えを広げることができる。

(4) 準備物

教科書，ワークシート，ホワイトボードまたは発表用の用紙

(5) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項（・） (努力を要する生徒への指導の手立て◆)	評価規準 ○教科の事項 ☆資質・能力 (評価方法)
導入	○本時の目標を明らかにする。 課題の設定	・教科書の「短歌十首」を音読させる。	
	【本時の目標】 短歌の空欄に入ることばを想像力を働かせながら考えることができる。		
展開	○一部分を空欄にした短歌を一首聞き，空欄に入ることばを考える。	・考えた言葉を理由も含めて数人に発表させる。	
	○ワークシートを配布し，各自空欄に入る言葉を考える。 ○自分の考えた言葉を班内で交流する。 情報の収集	・短歌の内容や空欄に入る音数など，考える際に必要な事項を押さえ，一首全体からどのような言葉が適切か推理するよう伝える。 ・お互いになぜその言葉を入れたのかを説明させる。 ◆なぜそう考えたのかほかの生徒の根拠を聞かせる。	○空欄に入ることばを考えようとしている。 (ワークシート) ☆課題解決能力 ・短歌の形式にあった空欄に入る言葉について，根拠を明確にして説明しようとしている。 ・自分の考えと比較しながら意見の交流をしようとしている。 (行動観察，ワークシート)

<p>【主体的に学んでいる姿】</p> <p>・空欄に入る言葉を進んで考え、班でお互いに意見を交流し、答えを見い出そうとしている。</p>		
<p>○班ごとに、入れた言葉とその言葉を入れた理由を発表する。</p> <p style="text-align: center;">整理・分析</p> <p>○正解を聞きながら、空欄に入る言葉をワークシートに書く。</p>	<p>・最も説得力のある考えを、班の代表意見として発表させる。</p> <p>◆ヒントを与える。</p> <p>・その言葉の持つ効果や一首での働きについても説明する。</p> <p>・たとえ異なってもあり得るものは評価する。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl;">ま と め</p> <p>○穴埋めの終わった短歌を音読する。</p> <p style="text-align: center;">振り返り</p> <p>○授業カードを書く</p>	<p>・自分の考えた言葉や理由も尊重しながら、作者の言語感覚に注目させる。</p> <p>・今日の授業を振り返らせ、自己評価させる。</p>	

(6) 板書計画

本時のねらい

短歌の空欄に入る言葉を考えることができる。

ことばを磨く

「この味がいいね」と言っただから
□月六日はサラダ記念日
俵 万智

*六首の短歌揭示

穴埋め短歌にチャレンジ！！

☆次の短歌の空欄に入る言葉とそう考えた根拠（理由）を書きなさい。

二年 組 番 名前

①靴ひもを結ぶべく身をかがめれば全ての場所が 山田 航

【そう考える根拠】

班の人の考え

②通るたび「本日限り」のバーゲンをしている店の赤い 俵 万智

【そう考える根拠】

班の人の考え

【そう考える根拠】

③思い出の一つのようでそのままにしておく のへこみ 俵 万智

【そう考える根拠】

班の人の考え

④さくら保育園もも組まなべひろこ君 をつけて得意さうなり 真鍋正男

【そう考える根拠】

班の人の考え

⑤「今日は笑わないから」という友のいて屋のカレーに 落とす

【そう考える根拠】

梅内美華子

班の人の考え

⑥ の には夏という商品があるらしいと聞いた 笹井宏之

【そう考える根拠】

班の人の考え

【作者の語】

(①スタートライン ②ブラウス ③麦わら帽子 ④名札 ⑤コロッケ ⑥北極・パン屋さん)